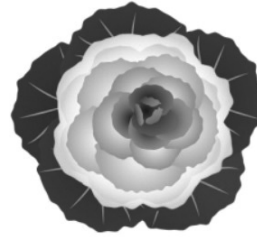


農業



令和4年11月号
会誌 No. 1696

目次

巻頭言

農業の未来に農芸化学が果たす役割……………山本 祐司 3

論 壇

豪雪の農業のまちから……………桑原 悠 4

食用タンパク質研究会

第8回食用タンパク質研究会……………中村 卓 6

おいしい食感のデザイン法

—ターゲットとした「動物性食品らしいおいしい食感」をどのように
プラントベースフード (plant-based food) で実現するか?—

質疑応答・討論…………… 15

農業懇話会

「令和3年度食料・農業・農村白書」について……………江川 和隆 20

食を楽しむ

心に響く紅茶とチョコレート……………小野 隆 35

研究の最前線

果実の香りの分析……………伊藤 友彦 36

—香り特性と遺伝情報との関係性—

農業・農村の現場から

農家の IT 利用をどう進めていくか……………衣笠 智子 46
—兵庫県養父市の農家アンケートに基づいて—

世界の農業は今

インド農業の現状と課題……………野崎由紀子 52
—巨大人口をだれが養うか—

私の経営と志

宇都宮市で米麦生産……………野澤 俊樹 58
—耕作地と国産農作物を守る—

農家の気持ち

はじめまして農業……………曾我 笑子 60

統計情報

2021（令和3）年新規就農者調査結果…………… 61

農政情報

大日本農会だより…………… 62

編集部から…………… 64

会誌「農業」に関するアンケート

表紙写真説明

美東ごぼうの収穫作業（山口県美祢市）

山口県美祢市美東町赤郷地区で栽培されている「美東ごぼう」は、国定公園「秋吉台」のカルスト台地の栄養豊富な粘土質土壌で育っています。

そのため、ゴボウがじっくり成長し、きめ細やかで柔らかい食感、高い香りなどの特徴があり、その品質の良さから市場関係者から高い評価を得ています。出荷時期は10月～12月が主体で、特に、贈答用として人気があります。

また、栽培面積は、小規模（約7 ha）ですが、高い品質と地域風土を生かした伝統的な栽培方法が評価され、2017年に地理的表示保護制度（GI）に登録されました。

4～5年の輪作、粘土質土壌での油圧ショベルを使った収穫、本来の品質が損なわれないよう、「すなでる」と言われる伝統的な手法（水洗いせず、稲わらや柔らかい布等で1本ずつ手作業）で泥を落とすなど、労力が掛かりますが、品質の良いゴボウを提供できるよう、生産者の皆さん全員が努力しています。

（山口県美祢農林水産事務所農業部 西山 隆明）